

# 札幌市立北郷小学校

〒003-0834

白石区北郷4条5丁目1-1

## 【北郷小の連携】

- 北郷小の5年全児童と、北郷札幌幼稚園の年長児との交流を年2回実施。
- 北郷札幌幼稚園と北郷小学校で各1回実施している。
- 互いに友好を深めるために、一緒に歌や踊りなどの活動をしたり、簡単な遊びなどを計画したりして実施している。
- 5年生で交流を実施し、その後、北郷小学校に入学する幼児については、6年生となった児童が学校の生活に慣れるようサポートする取組へと継続される。
- 北郷札幌幼稚園は、校区内に所在する幼稚園である。



【北郷小での集会の様子】

## 【成果】

- 連携することで、相手の気持ちを考えて関わろうとする態度が培われた。
- 連携することで、地域にある施設について、興味・関心をもてるようになった。
- 連携することで、人間関係について高まりを感じることができるようになった。
- 4年生で子育てサロンに来ている幼児との関わり、5年生で幼稚園の園児との関わり、6年生で入学してきた1年生との関わりを継続して取り組むことで、目的意識をもって学習することができた。また、関わり方についても工夫することができ、意欲も向上した。

## 【考察】

- 3年間継続して取り組むことで、子どもたちの取組に対する意識、意欲が向上してきている。
- 今後は、この取組を継続して行っていくことで、さらに創意工夫に期待するとともに、児童の意識の向上にも努めていく。

# 札幌市立東白石小学校

〒003-0026

白石区本通14丁目南6-1

## 【柏葉保育園訪問】

◎平成27年8月18日（火）

本校指導部長及び1年生担任3名の計4名で訪問

9:45～9:50	本校に入学した卒園児の様子について
9:50～10:00	園内見学
10:00～10:30	年長クラスを参観
10:30～11:00	自由遊びを参観
11:00～12:00	保育園の先生との懇談

## 【交流会での内容と成果】

### ①1日の生活リズムについて

- ・園での1日のスケジュールが、園児の生活に合致しており、大変自然である。学校も時間割に合わせて生活するが、入学当初はそのギャップが大きかった。
- ・その日やることについて事前に園児に説明をするという過程の大切さを感じた。

### ②指導体制等について

- ・担任以外にもう1名の先生が活動を見守っており、園児に目が行き届いていた。
- ・グループ活動を多く取り入れており、先生の指示のもと、幼児が自主的に活動している場面が多かった。

### ③園児・保護者への対応について

- ・特に子ども同士のけんかななどの場合の対応の仕方は同じである。よくなかったところはみんなで確認し、お互いに納得する状況を作ることが大切である。そのために園ではずいぶん時間をかけていることが分かった。
- ・保護者との対応については、即時的な対応を心がけているところは共通しているが、学校と違い、電話ではなく直接顔を見て話ができる機会が多いと感じる。大変さもあると思うが、そのよさも多いのだろうと思う。

## 【考察】

- ・園児はいろいろなことができる、ということを感じた。
- ・学校でもスタートカリキュラム等を通し「やればできるよね。」という声かけをしていかなければならない。



【年長クラスを見学】



【自由遊びの様子を見学】



【保育園の先生方との懇談】

# 札幌市立北都小学校

〒003-0833

白石区北郷3条11丁目7番1号

## 【北都保育園との連携】

- ・ 5年生の総合的な学習の時間の中で、北都保育園との交流活動を行っている。
- ・ 今年度は、11月に本校5年生が北都保育園に行って園児との交流を図った。児童が遊びの計画を立て、園児との遊びを通して仲良くなり、楽しそうに活動する姿が見られた。今後2月に、保育園の園児に本校に来てもらい、5年児童が学校案内と交流活動を行う予定である。
- ・ 本校の総合的な学習の時間の中に位置付く取組で、これまで継続して取り組んできたことである。
- ・ 全員ではないが次年度、多数の北都保育園の園児が本校に入学する。



【会の初めに自己紹介をしている】



【グループに分かれて交流している】

## 【成果】

- ・ 北都保育園との交流は教育課程にも位置付けている活動で、本校児童も大変楽しみにしている活動である。次年度、自分たちが6年生になったときの新1年生ということもあり、園児も小学校のお兄さんお姉さんとして親しんでくれている。
- ・ 毎年継続して行っている活動なので、児童・園児とも楽しみにしている。

## 【考察】

- ・ 北都保育園とは、これまでも連携してきたが、児童がしっかりねらいをもって活動していけるように、今後も綿密に連絡を取り合いながら取組を進めていく。



【感想を伝えている5年生】

# 札幌市立平和通小学校

〒003-0027

白石区本通15丁目北3-1

## 【保育園との連携】

本校では、校区内や近隣にある保育園との交流を2年生の生活科カリキュラムに位置付け、年2回実施している。

1回目は「まちたんけん」の訪問先として店などのほかに「白石うさこ保育園」と「柏葉保育園」を設定し、学級ごとに訪問している。訪問する前には「園児たちの喜ぶ出し物をしよう」をめあてに、出し物ごとのグループで内容や役割分担を決め、練習に取り組んでいった。当日は、お互いに緊張しながらもだんだん打ち解けていき、出し物ごとに大きな拍手をもらい満足そうだった。

2回目は「2年生まつり」として、1年生と、訪問した先の保育園児を招待し、「ゲーム屋さん」を開く活動である。「小さな子が楽しめるゲーム屋さん」をめざして、出店ごとに、用具やルール、説明の仕方などを工夫していった。当日は、お互いに2度目の交流となるので、和気あいあいと楽しそうに活動していた。



【ゲームのじゃんけん列車が・・・】



【こんなに長くなりました】

## 【2年生まつり～ゲーム屋の様子】



【帰りはみんなで見送りです】

## 【成果】

- ・2年生なりに年長者としての自覚が芽生えてくるので、年下の子へ丁寧に対応しようと努めていく態度が見られた。
- ・「保育園児のために〇〇しよう」という視点で活動を考えたり工夫したりするようになった。
- ・「喜んでくれた」ことを実感することで、準備から当日までの活動を満足感をもって振り返ることができた。
- ・保育園から事前に情報を受けた幼児の活動の様子を確認することができた。

## 【考察】

- ・2つの保育園との連携は、児童・幼児の交流が中心であるが、卒園児の成長の様子や入学予定の園児についてお互いに確かめることができる機会でもあるので、今後も継続していきたいと考える。

## 【近隣の幼稚園、保育園との連携】

本校における近隣の幼稚園や保育園との交流は、「学習発表会」の参観や授業の参観の他に、「生活科」での「まち探検」や5年生との「給食交流」などに取り組んでいる。

### ○1年生との交流

#### ①「学習発表会」の参観

児童公開日の発表や1年生の直前練習を観覧してもらっている。

来校した園児に楽しんでもらうことはもちろん、園児からもらう拍手が、本校児童にとって自分たちの取組の良い評価となり、自信や自己肯定感につながっていた。



#### ②「授業」の参観

2月には、新1年生の「一日体験入学」の他にも、園児が来校して、現1年生の授業を参観している。

新1年生には、学校の様子を知るとても良い機会となり、現1年生にとっても、進級に向けての良いステップになっている。

### ○2年生との交流

生活科の「まち探検」では、保育園や幼稚園の見学に出かけている。

教科のねらいを達成することのほかにも、卒園した園に行き、2年生になった姿を見てもらうことは、本校児童にとって、とても良い機会になっている。



### ○5年生との給食交流

新年度には、「6年生」と「1年生」として、交流を行うことになる「5年生」と「年長児」の組み合わせで、給食交流を設けている。緊張している園児たちに、学校生活の楽しさを伝えることが、5年生の役割となる。

### (成果)

- ・小学校の活動を知ってもらったり、上級生と交流したりすることで、小学校生活への不安を払拭することができている。
- ・就学前から園児の様子を知ることができるので引継がしやすく、園児も小学校の生活にスムーズにつなげていくことができる。

### (考察)

- ・担当者間だけでなく、活動の成果や課題について、学校段階間で交流する場を設定すると、さらによい活動になっていくと考える。

# 札幌市立川北小学校

〒003-0854

白石区川北4条2丁目2-1

3年生は、社会科と総合的な学習の時間を通し、自分たちの住んでいる身近な地域について理解を深めると共に、地域の人々との関わりを意識させてきた。

受け入れ可否に合わせて毎年訪問先を決めているが、今年度は「こぶし保育園」と「北都幼稚園」を訪問し、関わりを深めさせていただいた。

## 【実践事例1：こぶし保育園】

◇日時：平成27年6月17日（水）2・3校時

◇交流相手：こぶし保育園の先生方、園児

- ・本校の校区内にある保育園で、出身児童が多い。
- ・こぶし保育園の運動会と卒園式は、本校のグラウンドや体育館を使用している。



【保育園の先生に質問】

## 【実践事例2：北都幼稚園】

◇日時：平成27年6月17日（水）2・3校時

◇交流相手：北都幼稚園の先生方、園児

- ・本校に一番近い幼稚園である。卒業生が通う北都中学校に隣接されており、本校児童にとって馴染みがあり、身近な幼稚園であり、出身児童も多い。



【幼稚園の教室を懐かしむ】

## 【成果】

- ・保育園や幼稚園の先生方と会って話す機会を得たことで、卒園児童の成長の様子や新入学する園児たちについて情報交換することができた。
- ・先生方や園児との交流を通して、小さい子に対する思いやりの気持ちや親近感をもつことができた。
- ・訪問先まで歩いて行くことで、学校周辺の地域の様子について学ぶ機会になった。

## 【考察】

- ・保育園や幼稚園の先生方が園児に関わる様子を見ることが、お世話になった先生方への感謝の気持ちを振り返る良い経験にもなった。
- ・教職員にとっても入学前の子どもの様子や先生方の指導に触れる良いきっかけとなる。
- ・可能な限り、次年度以降も交流を継続していきたい。



# 札幌市立東川下小学校

〒003-0864

白石区川下 4 条 3 丁目 1-1

## 【東川下ポップ保育園との連携】

### 「東川下遊びランド」での交流

3年生の総合的な学習の時間の学習「東川下遊びランド」の学習では、じゃんけん列車やフルーツバスケット、間違えさがしなどの遊びを3年生が計画し、保育園の年長クラスの園児を招いて活動する。

### 学習発表会の参観

本校で学習発表会児童公開日に年中クラスと年長クラスの園児が劇や音楽の発表を参観する。今年度は、1年生劇「けんかした山」、2年生劇「アイウエオリババ」、5年生音楽「挑戦～もっている力をだしきる～」の発表を園児が参観した。

### 保育参観

本校教職員が保育園を訪ねて保育の実際を参観する。年長クラスを中心に見学し、園児の発達段階を把握する。

### 【連携に至る経緯】

本校に入学する卒園児が多い。園児が本校児童との交流や行事の参観を通して、小学校の生活の実際を捉えることを目的に実施している。また、入学前の幼児の発達段階をとらえ、スムーズな学びの接続を目的に本校教職員が保育参観している。

### 【連携先との関係】

卒園後、本校に入学する園児が多数いる。

### 【北都幼稚園との連携】

### 「東川下遊びランド」の交流

3年生の総合的な学習の時間の学習「東川下遊びランド」の学習では、幼稚園を訪問し、自分たちが計画した遊びを、年長クラスの園児を対象に実施する。

### 【連携に至る経緯】

児童が園児と触れ合うことを通して、思いやりの気持ちを育むことを目的に実施している。

### 【連携先との関係】

卒園後、本校に入学する園児がいる。

### 【成果】

- ・ 園児との交流を通して、人と関わる楽しさを味わい、思いやりをもちながら接することの大切さを実感することで、本校児童にとって豊かな心を培う機会となった。
- ・ 小学校入学前の園児の発達段階が把握できるなど、教職員による入学前の子どもの理解が深まった。



【東川下遊びランド】



【学習発表会の参観】



【保育参観】



【東川下遊びランド】

### 【考察】

- ・ 交流を通して、園児の遊びや学びの実際や発達段階をとらえることができた。園児のもつ学びと育ちを踏まえ、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくことができる「スタートカリキュラム」を再考していく。